

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	虚血性腫瘍環境で発現誘導される遺伝子に着目した膵がん早期診断マーカーの開発
	研究目的	膵がんは、我が国においても、また、世界的にみても、完治が難しい予後不良ながんの一つですが、早期に発見して手術することで治癒が期待できます。当センターの臨床研究所では、膵がんの早期診断マーカーの開発研究を進めています。 この研究では、ヒト膵がんの培養細胞を用いた先行研究で発見した遺伝子と、その遺伝子からできる酵素が作る膵がんの早期診断マーカー候補物質について、既に手術で切除した膵がん組織や研究用に頂いてある血液で調べて、早期診断に使えるかどうか検証することを目的としています。この遺伝子は脳で多く発現していることが判っているので、対象として脳に転移したがんを手術された患者さんの検体も、同様に調べます。
	研究対象者	2010年1月から2021年12月までの間に、当センター消化器外科で膵がんの外科切除を受けた患者さん、及び、脳神経外科で、脳に転移したがんの外科切除を受けた患者さん
	研究期間	西暦2022年1月31日～西暦2025年3月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所、消化器外科(肝胆膵)、病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし